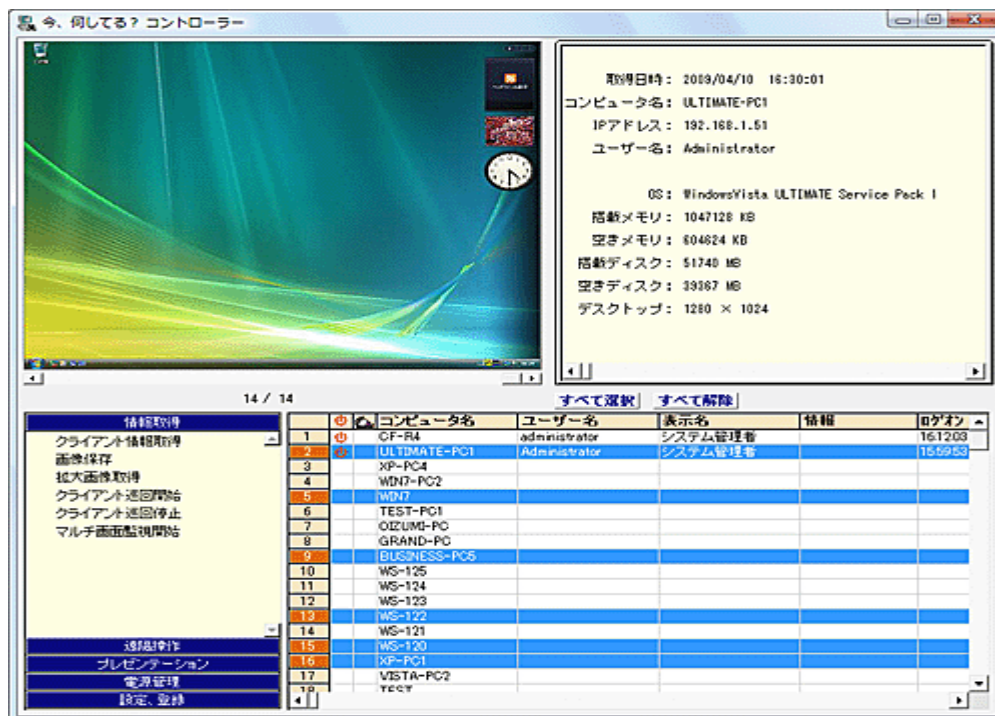


# はじめに



「今、何してる？」は、Microsoft Windows の下で動作するアプリケーションです。管理者のコンピューターから、他のコンピューターの管理、監視、制御を行うことが出来るシステム管理者向けツールです。本ソフトウェアはフリーウェアで、誰でも無償でご利用いただけます。

## ご利用に際して

- ・ご利用前に必ず[使用許諾](#)をお読みいただき、その内容の全てをご承認ください。
- ・使用方法を誤りますと、システムに重大な損害を与える可能性がありますので、各機能を十分に理解した上で操作してください。
- ・プライバシーの侵害に繋がる機能もありますので、使用者はそのことを十分に認識した上でご利用ください。

ホームページ: <http://www.007.jp/jp/>

## 動作環境

本ソフトウェアをご利用いただくには、下記のシステム要件を満たした環境が必要です。

### 対応 OS

Microsoft Windows 10 Home  
Microsoft Windows 10 Pro  
Microsoft Windows 10 Enterprise  
Microsoft Windows 10 Education  
Microsoft Windows 8.1  
Microsoft Windows 8.1 Pro  
Microsoft Windows 8.1 Enterprise  
Microsoft Windows 8  
Microsoft Windows 8 Pro  
Microsoft Windows 8 Enterprise  
Microsoft Windows 7 Home Basic  
Microsoft Windows 7 Home Premium  
Microsoft Windows 7 Professional  
Microsoft Windows 7 Enterprise  
Microsoft Windows 7 Ultimate  
Microsoft Windows Vista Home Basic  
Microsoft Windows Vista Home Premium  
Microsoft Windows Vista Business  
Microsoft Windows Vista Ultimate  
Microsoft Windows XP Home Edition  
Microsoft Windows XP Professional  
Microsoft Windows Server 2012 R2  
Microsoft Windows Server 2012  
Microsoft Windows Server 2008 (R2)  
Microsoft Windows Server 2003

※各 OS は 32Bit 又は 64Bit の日本語版であること。(XP は 32Bit のみ対応)

※Windows Server 2003、2008(R2)、2012(R2)については「コントローラー側」のみ対応。

※システムには Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていること。(Windows 8、8.1、Server 2012 においても必須)

※Windows XP において.NET Framework 4 だけがインストールされている環境では、互換性の問題のため利用できない事があります。

その場合、.NET Framework3.5(SP1)をインストールすることで利用が可能になります。

※Service Pack や修正プログラムは、可能な限り最新のものを適用すること。

### ハードウェア環境

- ・TCP/IP による通信が可能なネットワーク装置(NIC)
- ・1024\*768(XGA) 以上の表示環境(コントローラーのみ)
- ・空き容量 300MB 以上のハードディスク装置
- ・512MB 以上の空きメモリ

### ネットワーク環境

コントローラーとクライアント間において、TCP および UDP での通信が可能なネットワーク環境(IPv4)

コントローラーとクライアント間で、基準ポート番号(9777)を中心として、 $\pm 30$  の範囲のポートがオープンになっている必要があります。(双方向)

アプリケーションが利用する基準ポート番号を変更することは出来ません。

Windows ファイアウォールについては、インストール時に例外として自動登録されます。

※電源の遠隔投入機能を利用するには、ブロードキャストパケットが通過出来ること。

※画像の配信機能などを利用するには、IP マルチキャストパケットが通過出来ること。

※無線 LAN 環境における運用は、パフォーマンス等の影響により、機能によっては正常に動作しない事があります。

※複数のネットワークデバイスを持つコンピュータにて利用する場合、バインドの順位が上位のアダプタを本プログラムは利用します。

Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## 機能一覧

### 【情報取得】

#### ■ クライアント情報取得

クライアントのデスクトップ画像や環境情報を取得します。  
取得した情報は履歴として自動保存され、いつでも過去のデータを呼び出して確認することが可能です。(最大 3,000 件)

#### ■ フルサイズ動画監視

クライアントのデスクトップをフルサイズで監視します。  
監視はクライアントの動きが動画レベルで表示されます。

#### ■ デスクトップ録画

クライアントのデスクトップ画面を動画として保存することが出来ます。

#### ■ クライアント巡回

「クライアント情報取得」を一定間隔で自動実行することが出来ます。

#### ■ マルチ画面監視

複数のクライアントのデスクトップ画像を同一ウィンドウ上に一覧表示し、監視することが出来ます。  
最大 48 台のクライアントを一覧表示可能です。

#### ■ カメラ動画監視

クライアントに接続されている USB カメラ(Web カメラ)の画像を動画で監視します。

### 【遠隔操作】

#### ■ コマンドの送信

任意のプログラムやバッチファイルをクライアントで実行します。  
URL を送信すれば、クライアントで Web ページを表示させることも可能です。

#### ■ メッセージ文の送信

クライアントに対してメッセージ文を送信し、表示させることが出来ます。  
受け取ったメッセージに対して返信を許可することも可能です。

#### ■ リモートコントロール

オリジナルのリモートコントロールソフトを内蔵しています。  
リモートデスクトップや VNC などのリモートコントロールソフトと連携した動作も可能です。

#### ■ クライアントの利用制限

クライアントコンピューターの利用を、期間を指定して禁止することができます。

#### ■ リムーバブルの取り忘れ案内

シャットダウン時に USB メモリ等が接続されたままの場合、案内表示します。

#### ■ 時計を合わせる

クライアントの内部時計(システム時計)をコントローラーの時刻に合わせる事が出来ます。

#### ■ ごみ箱を空にする

クライアントのごみ箱を空にすることが出来ます。

■ 最近使ったファイルを削除

クライアントにて最近使ったファイルの情報を削除します。

■ IE の履歴を削除

Internet Explorer の履歴を削除します。

■ IE の一時ファイルを削除

Internet Explorer の一時ファイルを削除します。

【コミュニケーション、プレゼンテーション機能】

■ コントローラー画像の配信

コントローラーのデスクトップ画像をクライアントに配信し、表示させることが可能です。  
コントローラーにおけるマウスの動きをクライアント上で再現させることも可能です。

■ ブラウザ URL の配信

コントローラーのブラウザで表示されている Web ページの URL を任意のクライアントに配信し、同一ページを表示させることが可能です。

■ ヘルプコール

クライアント側からコントローラーに対してメッセージを送信したり、ヘルプコールの通知を送ることが出来ます。

【電源管理】

■ 電源投入

クライアントの電源をリモート投入(Wake on LAN)します。

■ 電源切断

クライアントの電源を切断(シャットダウン)します。

■ 再起動

クライアントを再起動(リブート)します。

■ 電源制御

一定時間操作がない場合、スリープやシャットダウンなどを実行することが出来ます。

## 導入の手引き

初めてご利用になる場合、下記の作業が最低限必要となります。

### 1. [コントローラーのインストール](#)

コントローラー(管理者側)プログラムのインストールです。  
通常は 1 台のコンピューターにインストールします。

### 2. [クライアントのインストール](#)

クライアント(管理される側)プログラムのインストールです。  
必要な台数分インストールを行います。

### 3. [クライアントの登録](#)

コントローラーとクライアントのインストールが完了した後、コントローラープログラムに管理するクライアントを登録します。

コントローラープログラムを起動し、コマンドパネル(メニュー)から「[クライアント登録](#)」を選択して登録を行います。

## 使用許諾

本ソフトウェアをご利用いただくには、下記の事項をご確認、ご承認いただきます。  
ご承認いただけない場合は、本ソフトウェアに関するすべてを破棄していただきます。

1. 使用者はいかなる理由においても、本ソフトウェアを改造またはリバースエンジニアリングすることはできません。
2. 本ソフトウェアを使用したことにより発生したいかなる損害に対しても、開発者は一切その責任を負わないものとします。
3. 本ソフトウェアの所有権及び著作権は、大泉真一に帰属します。

# インストール、アンインストール

## インストール

プログラムをインストールするには下記の手順に従ってください。

本ソフトウェアをご利用いただくには、コントローラーとクライアントをそれぞれインストールする必要があります。  
コントローラーは管理者用のプログラムで、クライアントは管理される側のプログラムになります。  
通常、コントローラーは1台のパソコンに、クライアントは必要な台数分コピーしてインストールを行います。

- 1.「CtrlInst.exe」・・・コントローラーインストールプログラム
- 2.「ClntInst.exe」・・・クライアントインストールプログラム

### 【コントローラーのインストール】

コントローラーとなるコンピュータの任意のフォルダに「CtrlInst.exe」をコピーして起動します。  
インストール画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストール作業を継続してください。  
インストール完了後は一度コンピュータを再起動させてください。

### 【クライアントのインストール】

クライアントとなるコンピュータの任意のフォルダに「ClntInst.exe」をコピーして起動します。  
インストール画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストール作業を継続してください。  
インストール完了後は一度コンピュータを再起動させてください。

### 注意事項

- ・インストールを行うには、管理者の権限でログオンしている必要があります。
- ・同一コンピュータに、コントローラーとクライアントをインストールして利用することは出来ません。
- ・インストールを行うコンピュータは、システム要件([動作環境](#))を満たしている必要があります。
- ・ファイアウォールをご利用の場合、[動作環境](#)に記載されているポート番号をオープンにする必要があります。
- ・Windows ファイアウォールについては、インストール時に例外として自動登録されます。



## アンインストール

プログラムをアンインストールするには下記の手順に従ってください。  
アンインストールは、Windows 標準のアンインストール方法である「プログラムと機能」の画面からは行えません。

### 【コントローラーのアンインストール】

コントローラープログラムがインストールされているフォルダ内にある「UnInstall.exe」を起動します。  
アンインストール画面が表示されますので、以降は画面の指示に従ってアンインストール作業を継続してください。  
アンインストール完了後は一度コンピュータを再起動させてください。

### 【クライアントのアンインストール】

クライアントプログラムがインストールされたフォルダ内にある「UnInstall.exe」を起動します。  
アンインストール画面が表示されますので、以降は画面の指示に従ってアンインストール作業を継続してください。  
アンインストール完了後は一度コンピュータを再起動させてください。

### 注意事項

・アンインストールを行うには、管理者の権限でログオンしている必要があります。

# 利用方法

## クライアント

### クライアントの起動

クライアントプログラムは、コンピュータの起動時に自動起動し、シャットダウン時に自動終了します。  
ユーザーおよび管理者が、クライアントコンピューターにて起動および終了操作を行うことはありません。

## ヘルプコール

クライアント側からコントローラーに対してメッセージを送信したり、ヘルプコールの通知を送ることが出来ます。

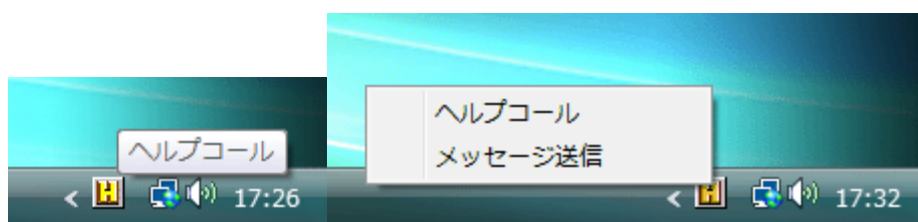
クライアントプログラムのインストール直後は、利用できない無効状態となっています。

本機能を利用する場合は、「[ヘルプコールの設定](#)」にて設定を有効にする必要があります。

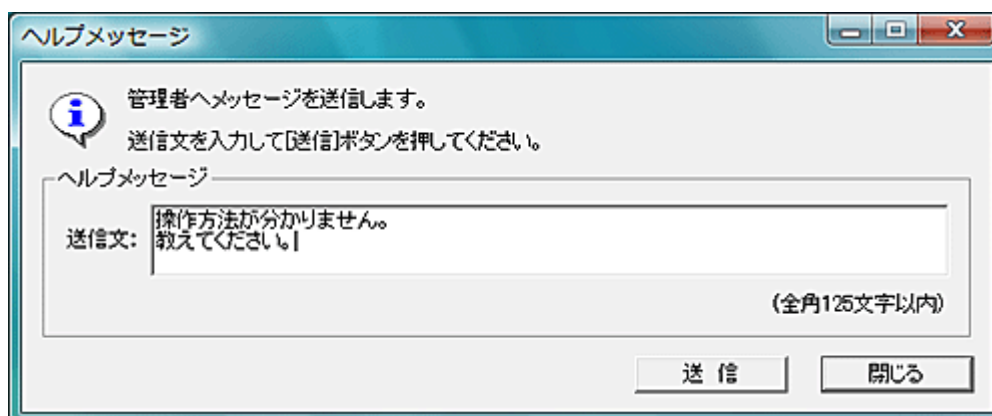
ヘルプコールが有効な場合、クライアントのタスクトレイには“H”アイコンが表示されます。

アイコンを右クリックすると、「ヘルプコール」および「メッセージ送信」のメニューが表示されます。

「ヘルプコール」を選択すると、コントローラーの「情報」欄に“ヘルプコールを受信”と表示されます。



「メッセージ送信」を選択すると、メッセージ文の入力画面が表示され、コントローラーに対してメッセージの送信が可能になります。



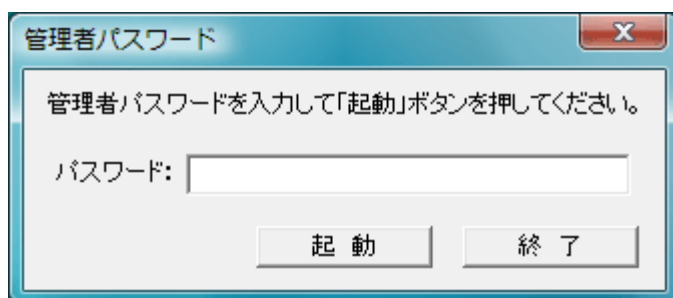
## コントローラー

### 起動と終了

#### 起動

コントローラーを起動するには、[スタート] - [すべてのプログラム] - [今、何してる？] - [コントローラー]を選択します。

「[環境設定](#)」にて管理者パスワードが登録されていると、パスワード入力を要求するダイアログが表示されます。



#### 終了

コントローラーを終了するには、コマンドパネルの「終了」を選択します。  
タイトルバー右上にある「閉じる」ボタンを押すことでも終了可能です。

## コントローラーメイン画面



コントローラーのメイン画面は次の4ブロックに分かれます。

### 1. コマンドパネル

コマンドを機能別に集めたブロックで、アプリケーションのメニューにあたります。

### 2. クライアントリスト

登録されているクライアントを一覧表示します。

クライアントの動作状態がリアルタイムで表示されます。

### 3. クライアント画像

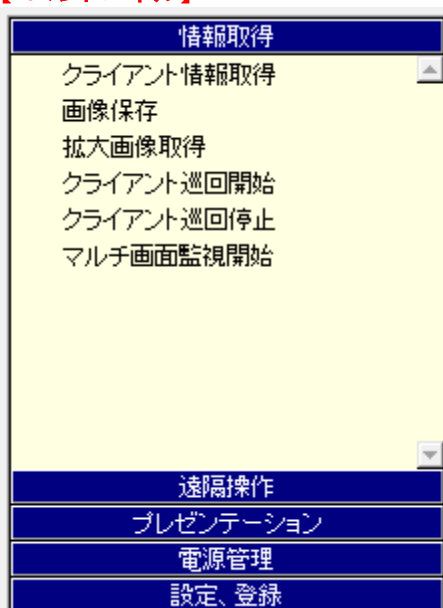
クライアントから取得したデスクトップ画像が表示されます。

### 4. クライアント情報

クライアントから取得した環境情報が表示されます

今、何してる？ マニュアル

### 【コマンドパネル】



各コマンドが機能別に集められています。

### 【クライアントリスト】

4						
		すべて選択		すべて解除		
			コンピュータ名	ユーザー名	表示名	情報
1			CF-R4	administrator	システム管理者	16:12:03
2			ULTIMATE-PC1	Administrator	システム管理者	15:59:53
3			XP-PC4			
4			WIN7-PC2			
5			WIN7			
6			TEST-PC1			
7			OZUMI-PC			
8			GRAND-PC			
9			BUSINESS-PC5			
10			WS-125			
11			WS-124			
12			WS-123			
13			WS-122			
14			WS-121			
15			WS-120			
16			XP-PC1			
17			VISTA-PC2			
18			TEST			

#### (電源アイコン)

クライアントの電源が入っていることを示します。

#### (マウスアイコン)

クライアントのマウス操作を検知して、活動状態(アクティブ)であることを示します。

一定時間マウスによる操作がないと、マウスアイコンは消えます。

検出時間は「[環境設定](#)」にて変更が可能です。

#### コンピュータ名

クライアントのコンピュータ名が表示されます。

#### ユーザー名

ログオンしているユーザー名が表示されます。誰もログオンしていない場合は、「ログオフ状態」と表示されます。

コンピュータが起動していなかったり、利用できない状態にある時は空欄になります。

#### 表示名

クライアントがドメインに参加している場合、Active Directory に登録されている表示名をサーバーから取得して表示します。

#### 情報

クライアントから送られてきた様々な情報が表示されます。

#### ログオン

現在のユーザーがログオンした時刻を表示します。(利用開始時刻)

#### メモ

任意の文字を入力して表示しておくことができます。(覚え書き等に利用)

登録は「[クライアント登録](#)」で行います。

#### IP アドレス

クライアントの IP アドレスを表示します。

#### 表示幅の変更

各項目の表示幅は自由に変更することができます。

#### 並び替え

各項目のタイトル名(ヘッダー)をクリックすることで、表示内容を並び替えること(ソート)ができます。

#### 「すべて選択」ボタン

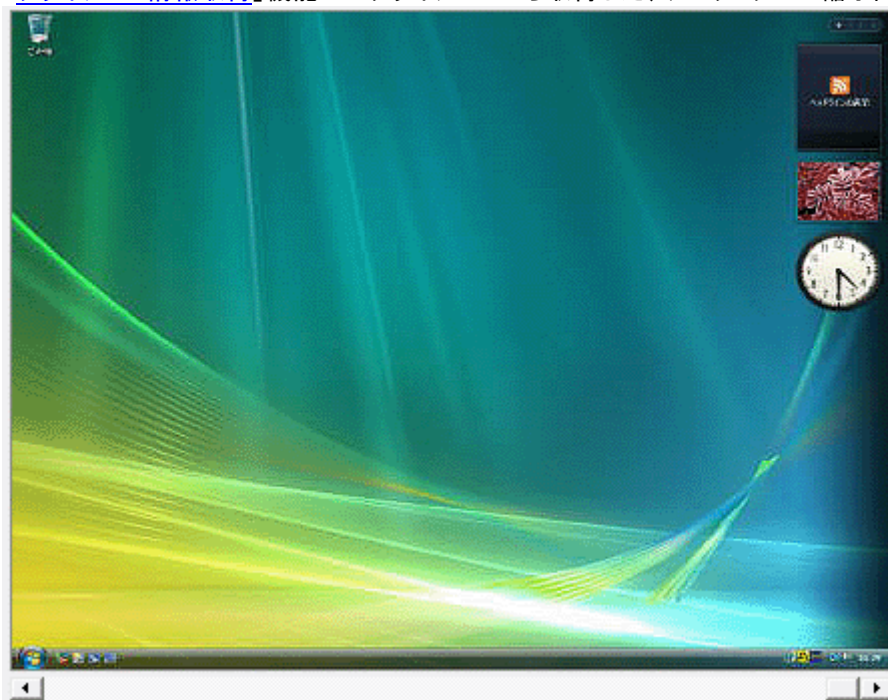
リスト内の全クライアントを選択状態にします。

#### 「すべて解除」ボタン

リスト内の全クライアントを非選択状態(選択解除)にします。

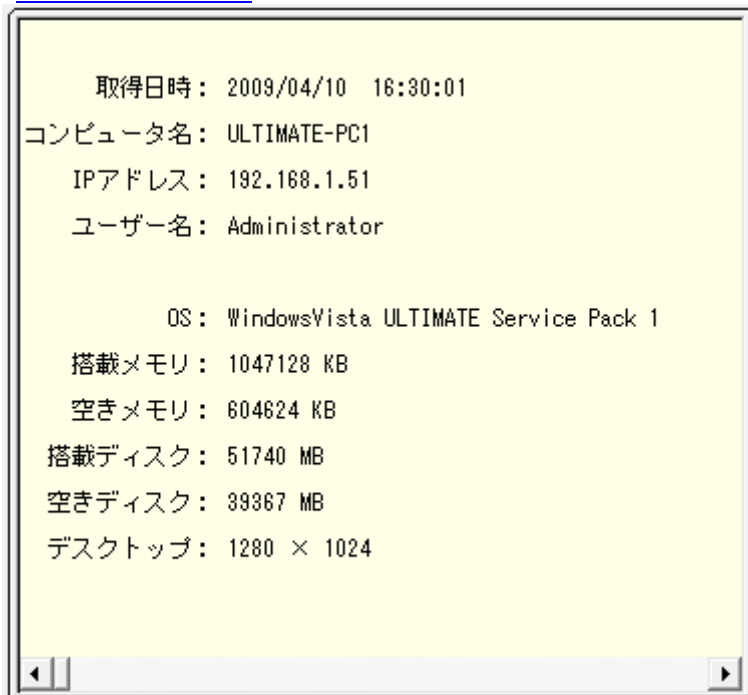
#### 【クライアント画像】

「[クライアント情報取得](#)」機能にてクライアントから取得した、デスクトップの縮小画像が表示されます。



【クライアント情報】

「[クライアント情報取得](#)」機能にてクライアントから取得した環境情報が表示されます。





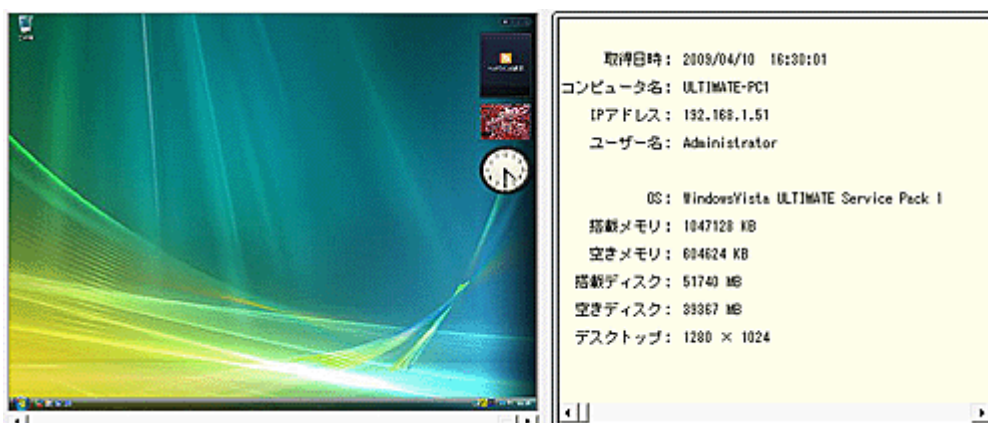
## 情報取得

### クライアント情報取得

リストにて任意のクライアントを 1 台選択し「クライアント情報取得」機能を実行すると、そのクライアントのデスクトップ画像と環境情報を取得します。

コマンドパネルにて「クライアント情報取得」機能を選択する替わりに、リスト内のクライアントを**右クリック**することでも同様の結果を得ることが出来ます。

この方法は、複数クライアントの選択状態を維持したまま、情報取得したいときにも有効です。



### 環境情報

#### 取得日時

情報を取得した日時が表示されます。

#### コンピュータ名

取得したクライアントのコンピュータ名が表示されます。

#### IP アドレス

取得したクライアントの IP アドレスが表示されます。

#### ユーザー名

取得したクライアントを利用しているユーザー名が表示されます。

#### OS

クライアントの OS 種別、サービスパックを表示します。

#### 搭載メモリ

搭載されているメモリ容量を表示します。(KB)

#### 空きメモリ

空きメモリ容量を表示します。(KB)

#### 搭載ディスク

システムドライブの容量を表示します。(MB)

#### 空きディスク

システムドライブの空き容量を表示します。(MB)

#### デスクトップサイズ

デスクトップの表示サイズを表示します。

取得した情報は履歴として保存され、いつでも呼び出して表示できます。

履歴データの呼び出しは、縮小画面下部にあるスクロールバーで操作します。

履歴データは 3,000 件まで蓄積可能で、3,000 件に達すると自動的にリセット(消去)されます。

今、何してる？ マニュアル

**【動作条件】**

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行することは出来ません。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。  
ただしログオフ時の画像取得は出来ません。
- ・クライアントにて重い処理を実行中など CPU 負荷が高い状態にあるとき、正常に情報取得が出来ない事があります。

## フルサイズ動画監視

リストにて選択されているクライアントのデスクトップをフルサイズで監視します。

監視はクライアントの動きが動画レベルで表示されます。

本機能は「リモートコントロール」機能を利用して実行されるため、同機能と同時使用は出来ません。  
(同一クライアントに対して)

「リモートコントロール」機能でも同様の監視は可能ですが、本機能を利用するとコントローラー側のマウスおよびキーボード操作は一切クライアントには伝わりません。

監視中はクライアントの CPU やリソースを消費しますのでご注意ください。

## リサイズ機能

クライアントのウィンドウが表示されている状態(フォーカスがある)で、キーボードから[Alt + F1]の操作を行うと、リサイズ機能が有効となります。

リサイズ機能が有効な状態でウィンドウサイズを変更すると、クライアントのデスクトップ画面がウィンドウサイズに合わせてリサイズされます。

リサイズ機能を無効にするには、再度[Alt + F1]のキー操作を行います。

リサイズの切替操作がうまく動作しない場合は、ウィンドウのタイトルバーをクリックしてからキー操作を行うようにしてください。



## 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行は不可。  
1 台ずつ選択して接続することは可能(複数同時接続)
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

## デスクトップ録画

クライアントのデスクトップ画面を動画として記録することが出来ます。

### 録画ファイル保存フォルダ (クライアント側)

クライアント上で録画ファイルを保存するフォルダを指定することが出来ます。

保存先にはネットワーク上の共有フォルダを設定することも可能です。(UNC 記述)

空欄の場合は、クライアントプログラムがインストールされているフォルダ直下の「SVR」フォルダに保存されます。

録画ファイルの形式は「Flash Video」です。

ファイル名は以下の書式で保存されます。

コンピューター名 | ユーザー名 | 年月日時分秒.flv (日時は録画開始時の時刻です)

### 画質

0～9 の範囲で録画の画質を設定します。(規定値は 5)

高画質ほど作成される録画ファイルのサイズは大きくなります。

### 1秒あたりのフレーム数

1～30 の範囲で1秒あたりに記録するフレーム数(画面数)を設定します。(規定値は 3)

フレーム数が多いほど作成される録画ファイルのサイズは大きくなります。

### 録画時間

録画を開始してから終了するまでの時間を設定します。(総録画時間)

設定値が 0 の場合、「録画停止」を実行するか、ログオフするまで録画は続きます。

### 1ファイルあたりの録画時間

画像ファイルを一定時間に分割して保存することが出来ます。(規定値は 10 分)

設定値が 0 の場合、録画ファイルの分割保存は行わず、1つのファイルに連続して記録します。

録画時間や設定内容によっては巨大なサイズの画像ファイルとなり、ファイルの回収や後処理に支障が出る場合があります。

### 録画ファイルの自動削除

録画ファイルの削除を適宜行わないと、録画ファイルはクライアントのディスクを消費し続け、やがて使い切ることになります。

古いファイルを自動削除することで、こういった事態を回避することが可能です。(規定値は 2 日)

ファイルの削除は「録画開始」を実行したときに行われます。

### 動作確認

「動作確認」ボタンを押すと、録画の動作状態の確認を行うことが可能です。

内容はクライアントリストの「情報」欄に表示されます。

### 録画開始

「録画開始」ボタンを押すと、直ちに録画動作が開始されます。(ログオン時のみ)

### 録画停止

「録画停止」ボタンを押すと、直ちに録画動作が停止されます。

それまでの録画内容はファイル保存されます。(時間を要することがあります。)

### 注意

- ・録画の設定内容やクライアントコンピューターの性能によっては、CPU 負荷が高くなる場合があります。
- ・録画ファイルのサイズはデスクトップのサイズ、表示内容、録画設定によって大きく異なります。(数 MB～数百 GB)
- ・録画内容をファイルに保存中は、デスクトップの録画動作は停止します。
- ・録画ファイルの保存フォルダを共有フォルダに設定する場合は、アクセス権限の設定にご注意ください。(フルコントロールを推奨)

## 画像保存

表示されている画像を、ビットマップ形式の画像ファイルに保存することが出来ます。

※保存される画像は縮小サイズのものになります。

## 拡大画像取得

リストにて選択されているクライアントのデスクトップ画像を等倍サイズで取得し、別ウィンドウに表示します。

表示された画像は、[Esc]キーを押すか、画像上を右クリックすることで消去出来ます。

画像上をダブルクリックするとファイルダイアログが表示され、ビットマップ形式のファイルに保存することができます。

その際、保存する画像の色数を指定することが可能です。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行する事は出来ません。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・画像の表示には、数秒から十数秒の時間を要します。
- ・クライアントにて重い処理を実行中など CPU 負荷が高い状態にあるとき、正常に画像取得が出来ない事があります。

## クライアント巡回開始、停止

「クライアント情報取得」機能を一定間隔で自動実行することが出来ます。



複数のクライアントを選択して「クライアント巡回開始」を選択すると、選択したクライアントの情報を設定された間隔で順次巡回取得します。

取得間隔は「[環境設定](#)」のクライアント巡回間隔で変更が可能です。(初期値は 3 秒間隔)

取得した情報は履歴として保存され、いつでも呼び出して表示できます。

履歴データの呼び出しは、縮小画面下部にあるスクロールバーで操作します。(巡回中は不可)

履歴データは 3,000 件まで蓄積可能で、3,000 件に達すると自動的にリセット(消去)されます。

巡回を停止するには「クライアント巡回停止」を選択します。

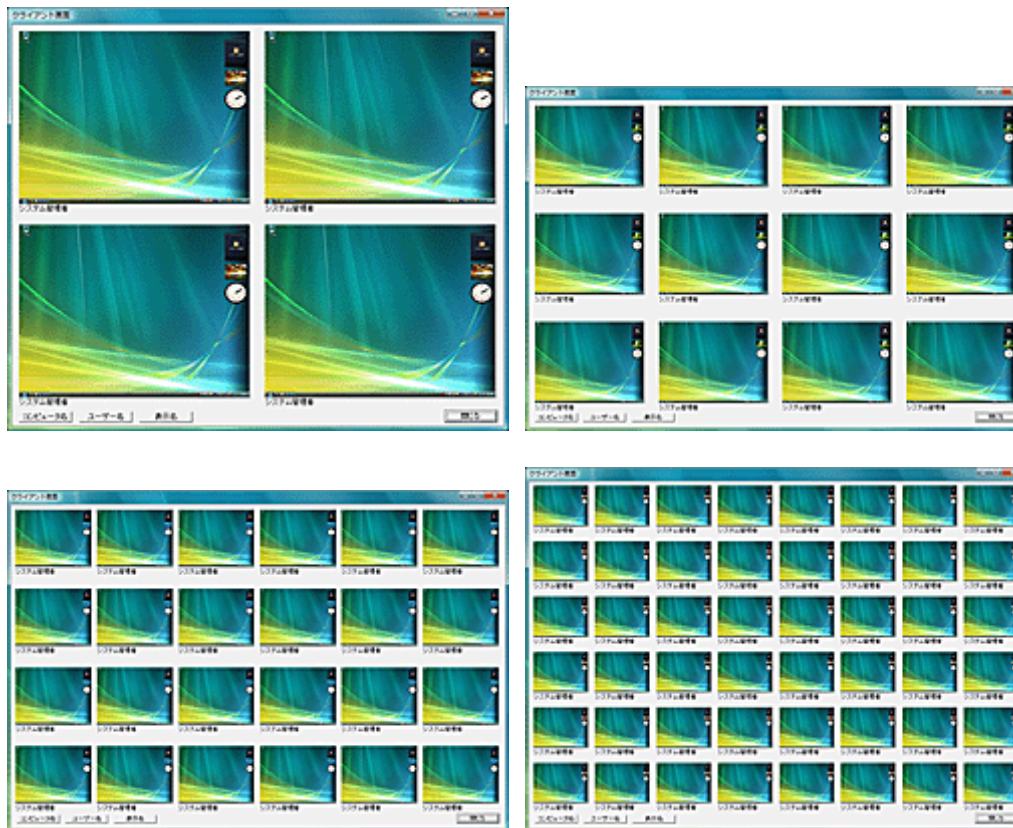
### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。  
ただしログオフ時の画像取得は不可。
- ・取得間隔が短すぎると、取得に失敗することがあります。(特に 3 秒未満)
- ・クライアントにて重い処理を実行中など CPU 負荷が高い状態にあるとき、正常に情報取得が出来ない事があります。



## マルチ画面監視開始

選択されたクライアントのデスクトップ画像を順次取得し、一覧表示します。



選択されたクライアントの数に応じて「4 画面」、「12 画面」、「24 画面」、「48 画面」と表示サイズが分かれます。

画像は「[環境設定](#)」のマルチ画面監視間隔で設定された間隔で順次取得されます。

最後に取得されたクライアントの画像には赤いフレームが付きます。

任意のクライアントの画像上を左クリックすると、そのクライアントの画像を優先的に取得することが出来ます。

その際、巡回は次のクライアントからスタートします。

任意のクライアントの画像上を右クリックすると、そのクライアントに[リモートコントロール接続](#)します。

「コンピュータ名」、「ユーザー名」、「表示名」のボタンを押すと、各画像下に表示されるユーザー情報を変更することが出来ます。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・クライアントにて重い処理を実行中など CPU 負荷が高い状態にあるとき、画像が取得出来ない事があります。

今、何してる？ マニュアル

## カメラ動画監視

リストにて選択されているクライアントのカメラ画像を動画で監視します。



異なるクライアントの監視を行うときは、現在のウィンドウを終了させてから実行してください。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行は不可。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・一般的な USB カメラ(Web カメラ)に対応しています。
- ・接続されているカメラの仕様によっては正常に表示されないことがあります。

## リストの情報欄を消去

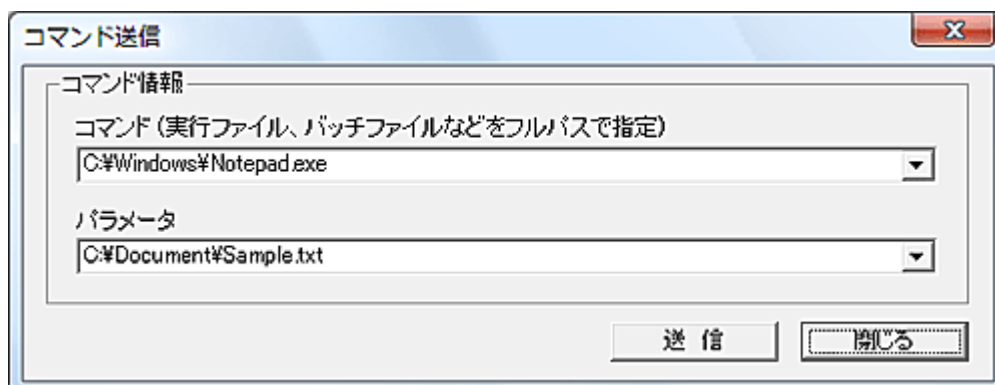
選択されているクライアントの「情報」欄に表示されている内容を消去します。

## 履歴データの消去

蓄積されている履歴データ(画像、環境情報)をすべて消去します。  
取り消しは出来ませんのでご注意ください。

## 遠隔操作

### コマンドの送信



リストにて選択されているクライアントにおいてコマンドを実行します。  
プログラムやバッチファイルを実行したり、ファイルを開くことが可能です。

実行したいプログラム(exe)やバッチファイル(bat)は「コマンド」欄に入力します。  
「パラメータ」欄には、必要に応じて引数やオプションを入力します。

「コマンド」欄にファイル名を入力して送信すると、そのファイルに関連づけられたアプリケーションで開くことができます。

Web サイトの URL をコマンド欄に入力して送信すると、ブラウザにて当該ページを表示することが出来ます。

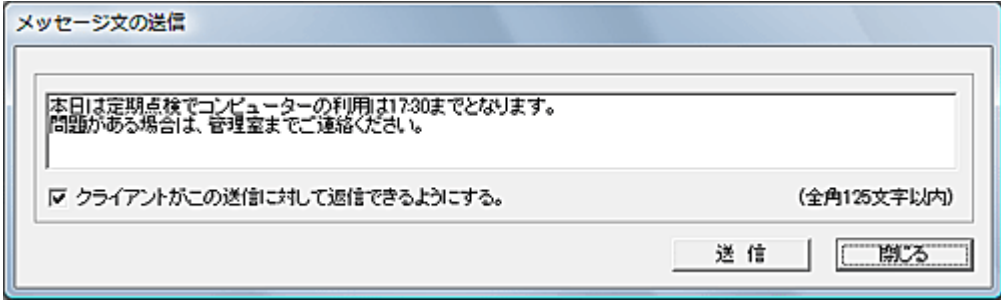
※ドロップダウンリストの履歴を削除したい場合は、[Shift]キーを押しながら該当の項目を選択します。

#### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・入力する実行ファイルなどは、実際に実行するクライアント上のディスク位置をフルパスで指定します。

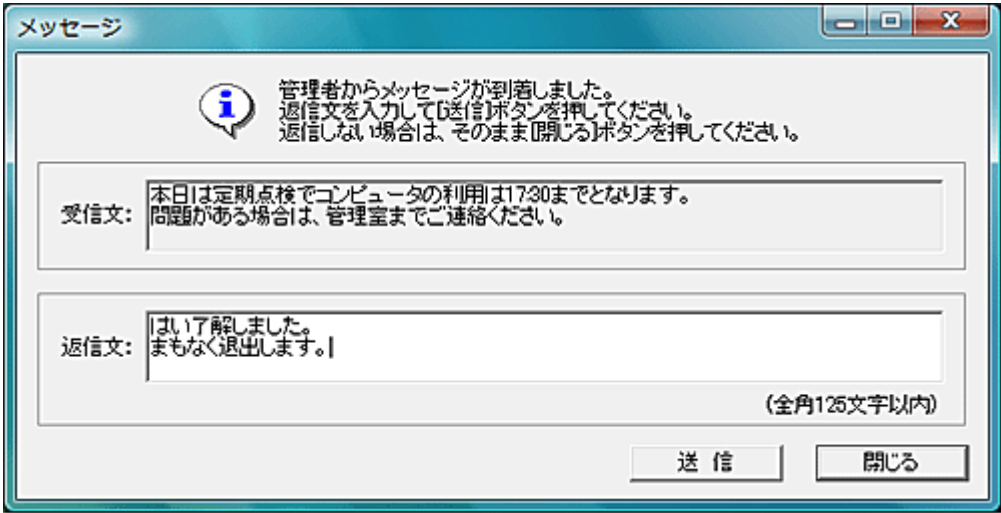
## メッセージ文の送信

リストにて選択されているクライアントに対してメッセージを送信することが可能です。



The dialog box is titled 'メッセージ文の送信' (Message Text Transmission). It contains a text area with the message: '本日は定期点検でコンピュータの利用は17:30までとなります。問題がある場合は、管理室までご連絡ください。' (Today, due to a regular inspection, computer use will be limited to 17:30. If there are any problems, please contact the management room). Below the text area is a checkbox labeled 'クライアントがこの送信に対して返信できるようにする。' (Allow clients to reply to this message), which is checked. To the right of the checkbox is the text '(全角125文字以内)' (Within 125 full-width characters). At the bottom right are two buttons: '送信' (Send) and '閉じる' (Close).

「クライアントがこの送信に対して返信できるようにする。」のチェックを選択して送信すると、受信したクライアントはそのままコントローラーに対して返信文を送信する事が出来ます。



The dialog box is titled 'メッセージ' (Message). It features an information icon and a message from the administrator: '管理者からメッセージが到着しました。返信文を入力して[送信]ボタンを押してください。返信しない場合は、そのまま[閉じる]ボタンを押してください。' (A message has arrived from the administrator. Please enter a reply and click the [Send] button. If you do not want to reply, click the [Close] button). Below this is a section for the received message: '受信文: 本日は定期点検でコンピュータの利用は17:30までとなります。問題がある場合は、管理室までご連絡ください。' (Received message: Today, due to a regular inspection, computer use will be limited to 17:30. If there are any problems, please contact the management room). Underneath is a text area for the reply: '返信文: はい了解しました。まもなく退出します。' (Reply message: Yes, I understand. I will exit shortly). To the right of the reply text area is the text '(全角125文字以内)' (Within 125 full-width characters). At the bottom right are two buttons: '送信' (Send) and '閉じる' (Close).

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

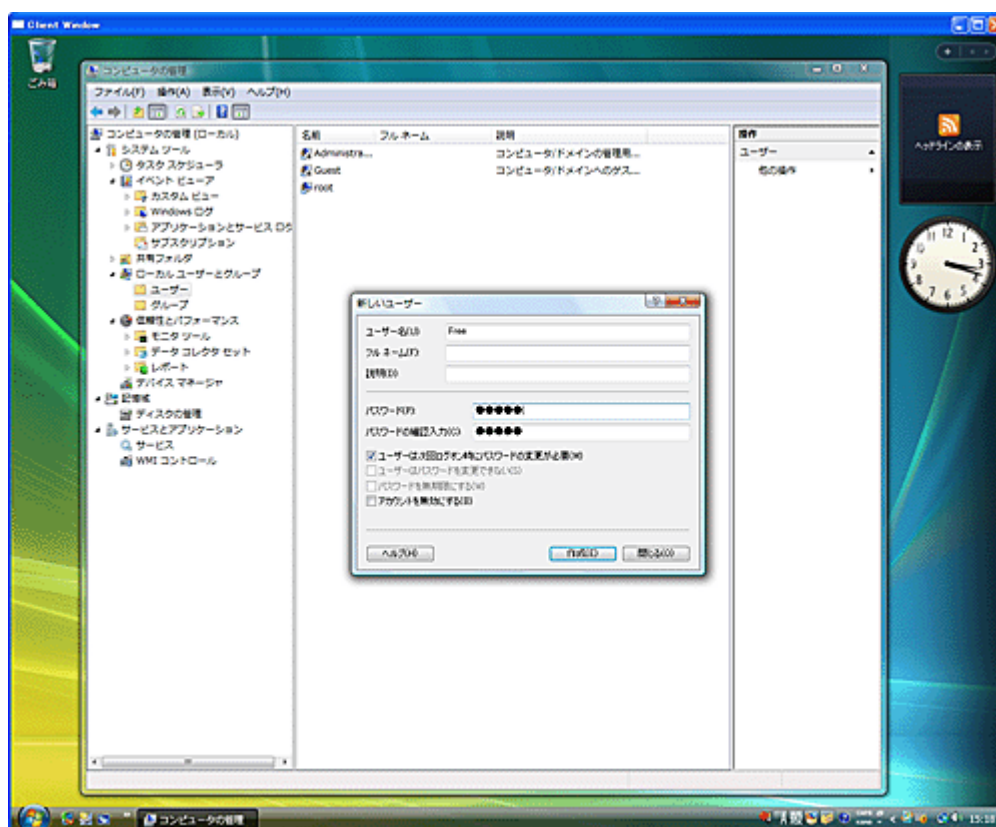
## リモートコントロール

リストにて選択されているクライアントにリモートコントロールソフトを介して接続します。  
 利用するリモートコントロールソフトは、予め「[環境設定](#)」にて設定しておきます。  
 何も設定しない場合は、「今、何してる？」オリジナルの簡易リモートコントロールツールが起動します。

「リモートデスクトップ」および「VNC」をリモートコントロールとして利用する場合は、別途当該ソフトウェアのインストールと初期設定が必要となります。  
 詳しくはそれぞれの説明書をお読みください。

### リサイズ機能（内蔵リモコン）

内蔵リモコンのウィンドウが表示されている状態（フォーカスがある）で、キーボードから[Alt + F1]の操作を行うと、リサイズ機能が有効となります。  
 リサイズ機能が有効な状態でウィンドウサイズを変更すると、クライアントのデスクトップ画面がウィンドウサイズに合わせてリサイズされます。  
 リサイズされた状態でもリモコン操作は機能します。  
 リサイズ機能を無効にするには、再度[Alt + F1]のキー操作を行います。  
 リサイズの切換操作がうまく動作しない場合は、ウィンドウのタイトルバーをクリックしてからキー操作を行うようにしてください。



### 内蔵リモコン

#### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択しての同時実行は出来ません。  
 1 台ずつ選択して接続することは可能(複数同時接続)

今、何してる？ マニュアル

・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能ですが、利用するリモートコントロールソフトに依存します。

内蔵リモコンの場合、「ログオン」時のみ利用可能。

#### **内蔵リモコンの機能制限**

内蔵リモコンには以下のような機能制限があります。

- ・日本語の入力に制限があります。(変換、無変換キーなどは対応しません)  
日本語入力モードへの切替はマウスで行ってください。  
変換はスペース変換等を利用してください。
- ・「Windows」キーなどシステム関連のキー操作は無効となります。
- ・クライアント画面内のオーバーレイ部分は一部表示されないことがあります。
- ・クライアント側で行ったマウス操作のポインター移動は再現されません。
- ・OS 種別や環境などにより、表示される内容が異なることがあります。
- ・UAC の警告ウィンドウには対応できません。
- ・内蔵リモコン利用中、UAC の設定変更等は行わないでください。



## クライアントの利用制限

クライアントコンピューターの利用を、期間を指定して禁止することができます。

システムのメンテナンスなどで、コンピューターの利用を一時的に制限したい時などに有用な機能です。ユーザーがログオンしたとき、メッセージ文を一定時間表示した後、コンピューターをシャットダウンすることが可能です。

シャットダウンまでの間、マウスとキーボードはロックされユーザーはコンピューターを操作することはできません。

### メッセージ文の登録

クライアントにて利用制限が行われるとき表示されるメッセージ文を登録します。

メッセージ文の登録が無い場合、実行期間内であってもそのクライアントに対する利用制限は行われません。

メッセージ文を入力し、対象のクライアントを選択して「設定」ボタンを押すと、リストのメッセージ欄に登録されます。

このとき改行は表示の関係で“\n”に置き換わります。

任意のクライアントをリスト上で右クリックすると、登録されているメッセージ文が入力ボックスにコピーされて編集が可能となります。

メッセージ文の削除を行う場合は、クライアントを選択して「消去」ボタンを押します。

### 実行期間

クライアントの利用制限は、有効期限を設定して実行することができます。

有効期限は、開始日時と終了日時を登録することが可能です。

今、何してる？ マニュアル

開始日時の登録が無い場合(空欄)は、開始日時のチェックは行われず直ちに有効となります。  
終了日時の登録が無い場合(空欄)は、終了日時のチェックは行われず期限なしとなります。

#### 実行日時消去

クライアントの利用制限が行われた直近の日時がリストの「実行日時」欄に表示されます。  
この表示を消去するには対象のクライアントを選択し、「実行日時消去」ボタンを押します。

#### 動作設定

「利用制限機能を有効にする」の選択がオフの場合、「クライアントの利用制限」機能は働きません。

シャットダウン待機時間はログオンしてから、シャットダウンに移行するまでの時間を設定します。(0～999 秒)  
999 秒に設定した場合、シャットダウン動作には移行せずメッセージ文が表示された状態のまま維持されます。  
マウスおよびキーボードのロックは解除できません。

#### 保存

リストの内容と、動作設定が保存されます。  
利用制限機能が有効の場合、直ちに内容が反映されて実行されます。

#### 登録削除

本機能で管理するリスト内のクライアントは、「今、何してる？」で[クライアント登録](#)されているすべてのクライアントが自動で追加登録されます。  
ただし、[クライアント登録](#)で削除されたクライアントは自動的に本リストからは削除されません。  
本リストから削除するには、対象のクライアントを選択して「登録削除」ボタンを押します。

#### 【動作条件】

本機能の設定や登録を行うとき、クライアントコンピューターの電源は入っている必要は無く設定内容がクライアントに保存されることはありません。

「クライアントの利用制限」機能はコントローラー側でサービスプログラムとして動作します。  
コントローラーコンピューターの電源さえ入っていれば、ログオフ状態でも動作可能です。

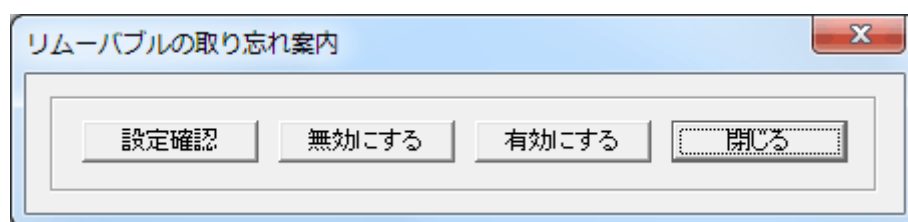
## リムーバブル取り忘れ案内

Windows を終了する際、CD、USB メモリなどリムーバブルメディアの取り忘れを防止することができます。

クライアントのユーザーがログオフ、シャットダウン、再起動の操作を行った時、CD/DVD ドライブにメディアが残っていたり、USB ポートに USB メモリなどのリムーバブルメディアが接続されたままになっていると警告文を表示して終了操作を中断します。

クライアント OS が Windows 8、8.1、10 の場合は警告を表示し、ユーザーは終了操作をキャンセルするか、強制的に終了するか選択する事が出来ます。

他の OS では、リムーバブルメディアを切断するまで Windows を終了することは出来ません。



### 有効にする

リムーバブル取り忘れ防止機能を有効にします。

一度設定すると、クライアントを再起動しても本機能は有効な状態を維持します。

### 無効にする

リムーバブル取り忘れ防止機能を無効にします。

一度設定すると、クライアントを再起動しても本機能は無効な状態を維持します。

### 設定確認

リムーバブル取り忘れ防止の設定状況を確認し、「情報」欄に表示します。

コントローラーからシャットダウン等のリモート操作を行った場合は、本機能は動作せず無条件で終了させることができます。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

## 時計を合わせる

リストにて選択されているクライアントの内部時計をコントローラーの時刻に合わせます。  
実行前にコントローラーの時計を正確な時刻に校正しておくことをお勧めします。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

## ごみ箱を空にする

リストにて選択されているクライアントのごみ箱を空にします。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。
- ・ログオフ時に実行すると、全てのユーザーのごみ箱が空になります。
- ・ログオン時に実行すると、ログオンしているユーザーのごみ箱のみが空になります。

## 最近使ったファイルを削除

リストにて選択されているクライアントにおいて、最近使ったファイルの削除を行います。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・削除されるのは、ログオンしているユーザーの物のみです。

## IE の履歴を削除

リストにて選択されているクライアントにおいて、Internet Explorer の履歴を削除します。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・削除されるのは、ログオンしているユーザーの履歴のみです。
- ・IE7 の保護モードが有効な場合、前日以前の履歴を削除できないことがあります。

## IE の一時ファイルを削除

リストにて選択されているクライアントにおいて、Internet Explorer の一時ファイルを削除します。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・削除されるのは、ログオンしているユーザーの一時ファイルのみです。



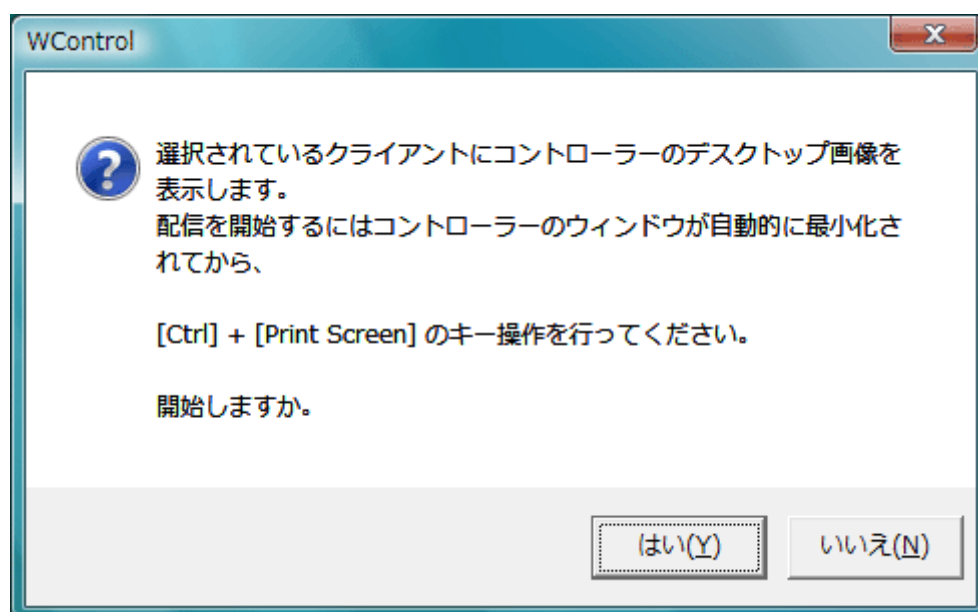
## プレゼンテーション

### コントローラー画像の配信

リストにて選択されているクライアントに対して、コントローラーのデスクトップ画像を配信して表示させる事が出来ます。

コマンドパネルにて「コントローラー画像の配信」を選択すると、自動的にコントローラーのメイン画面を最小化してタスクバーに格納します。

まだこの状態では画像の配信は開始されておらず、配信待機状態となっています。



画像の配信は、[Ctrl]と[PrintScreen]キーを同時に押下することで開始されます。  
[Ctrl + PrintScreen]のキー操作は、「[環境設定](#)」で他の組み合わせに変更が可能です。  
配信されるデスクトップ画像は、上記操作を行ったときのものになります。

画像表示中、コントローラー側で[Shift]キーを押しながらマウスを移動すると、ポインターの動きがそのままクライアントでも再現されます。

「[画像配信の終了](#)」を行うまで、[Ctrl + PrintScreen]のキー操作を行うことで何度でも最新画像の配信が可能です。

#### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・画像の配信には、数秒から数十秒の時間を要します。
- ・配信中のキャンセルは出来ません。
- ・ネットワークやクライアントの状態によっては、正常に機能しないことがあります。  
「[環境設定](#)」にて配信方法を変更することで改善することがあります。

## 画像配信の終了

「コントローラー画像の配信」によってクライアントに表示されているコントローラーの画像を消去します。  
リストにて選択されているクライアントのみが対象となります。  
表示中の画像は、クライアントコンピューター側で[Esc]キーを押すことでも消去が可能です。

「画像配信の終了」を行うと、以降[Ctrl + PrintScreen]のキー操作による配信動作は行われません。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

## ブラウザ URL の配信



コントローラーの Web ブラウザに表示されているページの URL を取得し、リストにて選択されているクライアントのブラウザに同一のページを表示させることが出来ます。

上記ウィンドウの「配信」ボタンを押すたびに、その時点で表示されているページの URL がクライアントに送信され、同一ページが表示されます。

クライアントにて Web ブラウザが起動されていない場合は、自動的にブラウザが起動します。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・コントローラーおよびクライアントにおける Web ブラウザの種別、バージョン、環境設定などにより正常に機能しないことがあります。

対応ブラウザ:「Internet Explorer」、「Firefox」

## 電源管理

### 電源投入

リストにて選択されているクライアントの電源を投入します。

#### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントコンピューターが電源の遠隔投入(Wake on LAN)に対応している必要があります。
- ・ブロードキャストパケット(Magic Packet)が通らない、異なるネットワークにあるコンピューターの電源を投入することは出来ません。

## 電源切断

リストにて選択されているクライアントの電源を切断します。  
クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

## 再起動

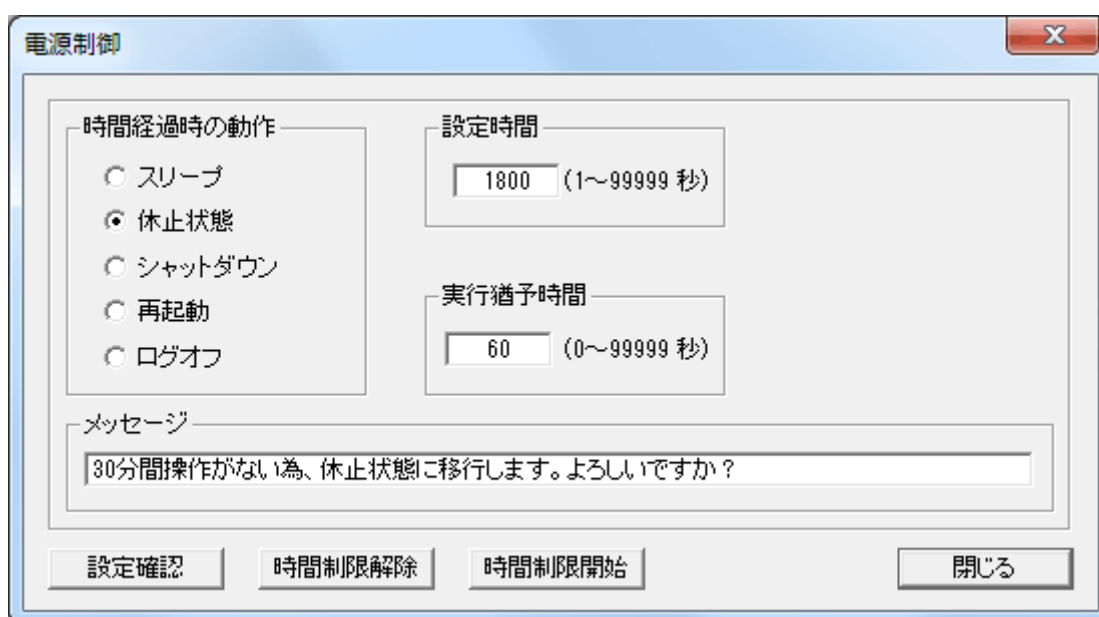
リストにて選択されているクライアントを再起動(リブート)します。  
クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

## 電源制御

クライアントコンピューターの利用を監視して一定時間操作がない場合、スリープやシャットダウンなどを実行することができます。



### 時間経過時の動作

「設定時間」で指定した時間内にマウスおよびキーボード操作がない場合、指定された動作を行います。

### 設定時間（無操作時間）

1～99999 秒の間で、1 秒単位で設定します。

### 実行猶予時間

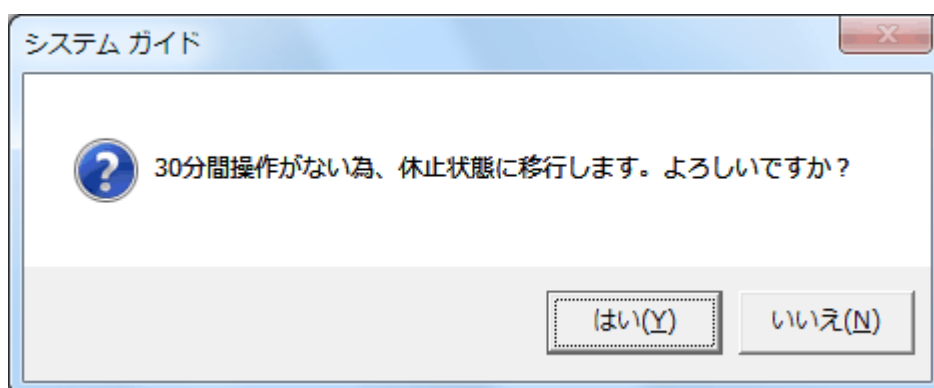
時間が経過した際、直ちに電源制御動作に移行せず、「実行猶予時間」で設定した時間だけメッセージを表示してユーザーに解除する機会を与えることができます。

0 秒を設定すると、メッセージは表示されません。

### 表示メッセージ

実行猶予時間で設定された時間、入力されたメッセージ文を表示してユーザーに解除の機会を与えます。

今、何してる？ マニュアル



ユーザーが「はい」を選択するか、実行猶予時間が経過すると、制限が実行されます。  
「いいえ」を選択すると「設定時間」がリセットされ、電源制御タイマーが再スタートします。  
「はい」「いいえ」ボタンに対応する適切なメッセージ文を入力してください。

#### 電源制御開始

リストにて選択されたクライアントに対して設定内容を送信します。  
クライアントがログオン状態の場合、直ちに電源制御機能が開始されます。  
電源制御開始を実行すると、「電源制御解除」を行うまで、クライアントがログオンする際に自動的に電源制御機能が実行されます。

#### 電源制御解除

リストにて選択されたクライアントに対して電源制御解除命令を送信します。

#### 状況確認

リストにて選択されているクライアントの電源制御に関する設定内容を取得し、「情報」欄に表示します。

#### 【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能ですが、制御機能はログオン後に開始されます。

#### 注意

無操作の検出は、マウスおよびキーボードの操作で行われます。  
マウスおよびキーボードの操作を伴わないアプリケーションは検出されません。



## 設定、登録

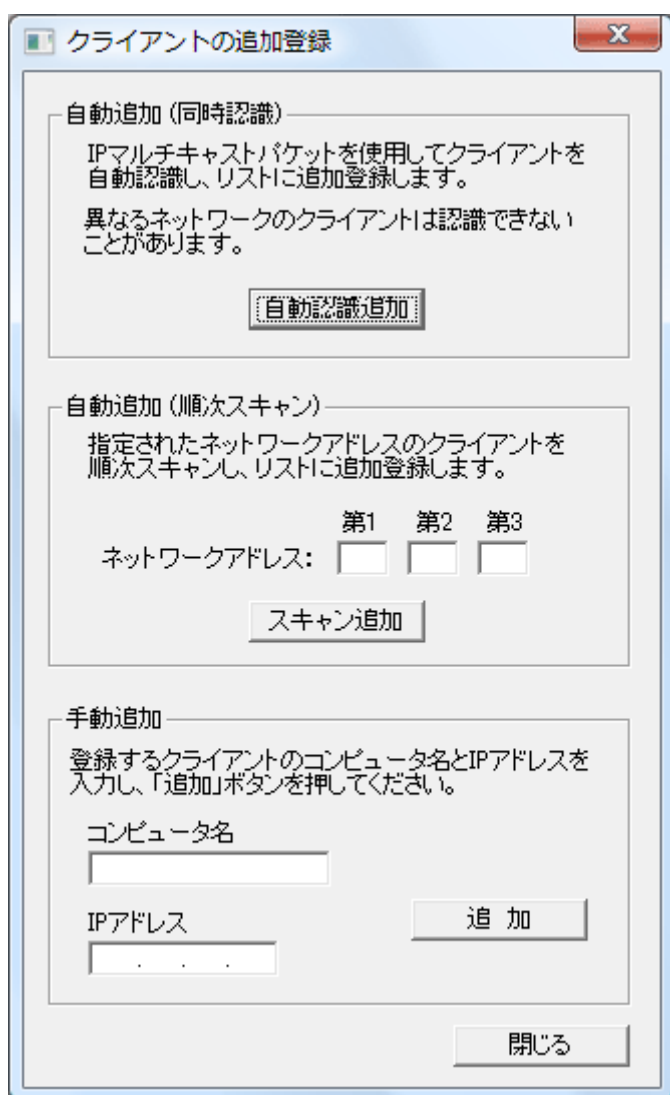
### クライアント登録

管理するクライアントをリストに追加したり、削除したりします。  
このソフトウェアで管理することが出来るクライアント数の上限は **48 台** です。

番号	コンピューター名	IPアドレス	MACアドレス	メモ
1	CF-R4	192.168.1.33	000b972e7be4	
2	ULTIMATE-PC1	192.168.1.51	000ea67e8c31	
3	XP-PC4	192.168.1.54	000ea6ca779f	
4	WIN7-PC2	192.168.1.64		
5	WIN7	192.168.1.198		
6	TEST-PC1	192.168.2.111		
7	OIZUMI-PC	192.168.1.153	0017c450ec63	
8	GRAND-PC	192.168.1.188	001a739bc8f1	
9	BUSINESS-PC5	192.168.1.57	0011d8f42f51	
10	WS-125	192.168.1.125		
11	WS-124	192.168.1.124		
12	WS-123	192.168.1.123		
13	WS-122	192.168.1.122		
14	WS-121	192.168.1.121		
15	WS-120	192.168.1.120		
16	XP-PC1	192.168.1.53	000ea67e8c31	
17	VISTA-PC2	192.168.1.52		
18	TEST	192.168.1.59		
19	ROOT-PC	192.168.1.135		
20	HOMEPREMIUM-PC	192.168.1.151	000ea67e8c31	
21	GOLD	192.168.1.55	000cf1b8fcf0	
22	BUSINESS-PC4	192.168.1.52	0011d8f42f51	
23	YAYOI	192.168.1.103	00301bb557ef	
24	ULTIMATE64-PC	192.168.1.50	001a924e8801	
25	Server2	192.168.1.202	00301bb557ef	
26	Server1	192.168.1.201	00301bb557ef	
27	GX260-1	192.168.1.56	000bcb534d67	

#### 【クライアント追加】

「クライアント追加」ボタンを押すと、「クライアントの追加登録」画面が表示されます。



クライアントコンピュータの登録には、以下の3つの方法があります。

「自動追加(同時認識)」または「自動追加(順次スキャン)」を利用して登録を行うには、対象となるクライアントコンピュータが起動している必要があります。

ただし、ログオンしている必要はありません。

#### 1.自動追加 (同時認識)

多くの場合、この方法でクライアントの追加登録が可能です。

「自動認識追加」ボタンを押すと、数秒後に新しく認識したクライアントをリストに自動登録します。

この方法は、IP マルチキャストを送出してクライアントからの応答により自動追加を行います。

IP マルチキャストが通過できない、コントローラーと異なるネットワークにあるクライアントは自動認識できません。

その場合は、順次スキャンによる自動追加を行ってください。

※クライアント台数が多い場合など、一回で全てを認識追加できない場合は、数回この操作を行ってください。(7 秒以上間隔をおいて)

#### 2.自動追加 (順次スキャン)

異なるネットワークにあるクライアントを登録するには、IP アドレスを順次スキャンして認識させます。

ネットワークアドレス欄に第 3 オクテットまでのアドレスを入力して「スキャン追加」ボタンを押すと、第 4 オクテットの 1 から 254 までの IP アドレスをスキャンします。

スキャン中に反応のあったクライアントがリストに自動登録されます。

複数のネットワークをスキャンしたい場合は、アドレスの値を変えて連続実行してください。

### 3.手動追加

異なるネットワークにあるクライアントは自動認識追加出来ないことがあります。

その場合は、クライアントのコンピュータ名と IP アドレスを入力して手動追加することが可能です。

### 台数制限

クライアント台数が 48 台を超えた場合、それ以上は登録することが出来ず、自動認識されても登録保存時に破棄されます。

### 【クライアント削除】

削除したいクライアントを選択して「クライアント削除」ボタンを押します。

### 【メモ入力】

メモはプログラムから利用することではなく、管理者が任意の文字列を登録して利用することが可能です。  
(覚え書きなどに利用)

クライアントを選択し、「入力」ボタンを押すとメモを一括入力できます。(複数同時入力可)

メモには半角のカンマ(",")を含めることは出来ません。(仕様)

入力欄が空白の状態で「入力」ボタンを押すことで、登録済みの内容を消去することが可能です。

### 【保存して閉じる】

「保存して閉じる」ボタンを押すと、リストの内容をファイルに保存してメイン画面に戻ります。

変更内容を保存したくない場合は、タイトルバーの「閉じる」ボタンを押します。

### 【操作ガイド】

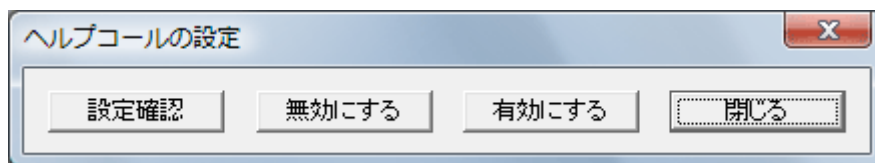
リストの項目の中で、[IP アドレス]、[MAC アドレス]、[メモ]欄は直接編集する事が出来ます。

変更内容は、他の項目に移行するなどして確定させる必要があります。

## ヘルプコールの設定

クライアント側からコントローラーに対して、メッセージを送信したり、ヘルプコールの通知を送ることが出来ます。

クライアントプログラムのインストール直後は、利用できない無効状態となっています。



### 設定確認

現在のヘルプコールの設定状態をクライアントから取得し、リストの「情報」欄に表示します。

### 無効にする

ヘルプコール機能を無効にします。

一度設定すると、クライアントを再起動してもヘルプコール機能は無効な状態を維持します。

### 有効にする

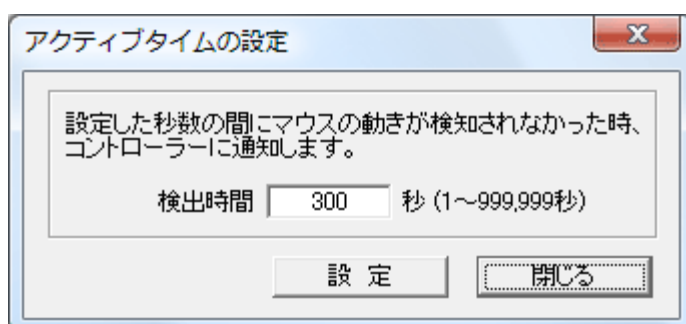
ヘルプコール機能を有効にします。

一度設定すると、クライアントを再起動してもヘルプコール機能は有効な状態を維持します。

### 【設定条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に設定が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に設定可能です。

## アクティブタイム設定



クライアントリストの左から2番目に表示される「マウス」アイコンの表示条件(時間)を設定します。  
 クライアントにてマウス操作を行っている間、リスト内の「マウス」アイコンが表示されます。  
 設定された検出時間内にマウス操作が行われないと、「マウス」アイコンは消えます。  
 これにより、クライアントが現在アクティブな状態かどうかを簡単に識別することができます。

### 【設定条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時に設定が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に設定可能です。

## 環境設定

各機能の動作に関する設定を行います。

設定変更後は、それぞれのグループ内にある「設定」ボタンを押してください。

環境設定

管理者パスワード

(半角英数字で16文字以内)

パスワードが登録されると、コントローラー起動時にパスワードの入力を要求されます。

設定

クライアント巡回、マルチ画面監視間隔

クライアント巡回 3 (1~99,999秒)

マルチ画面監視 3 (1~99,999秒)

設定

クライアント巡回、マルチ画面監視を行う時の間隔を設定します。

リモートコントロール

内蔵簡易リモコン リモートデスクトップ VNC

リモートコントロールプログラム

参照

パラメータ

+ IPアドレス 設定

画像配信キー

このキー操作によって画像の配信が開始されます。  
他のアプリケーションと競合しないキーを選択してください。

☒ [Ctrl] + Print Screen ☐ [Shift] + Print Screen

☐ [Ctrl] + F9 ☐ [Shift] + F9

☐ [Ctrl] + F10 ☐ [Shift] + F10

☐ [Ctrl] + F11 ☐ [Shift] + F11

☐ [Ctrl] + F12 ☐ [Shift] + F12

設定

画像の配信方法

☒ ファイル転送方式で画像を配信する。

☐ マルチキャスト方式で画像を配信する。

設定

開じる

### 【管理者パスワード】

インストール直後のコントローラーは誰でも起動して利用できる状態にあります。

セキュリティ上好ましくない場合は、パスワードを設定することでコントローラーの起動を制限することが出来ます。

パスワードが設定されていると、コントローラー起動時にパスワードの入力を要求するダイアログが表示されます。

パスワード保護を解除するには、入力欄を空白にして「設定」ボタンを押します。

万一設定したパスワードを忘れた場合は、コントローラープログラムを一度アンインストールし、新規インストールを行う必要があります。

### 【クライアント巡回、マルチ画面監視間隔】

「クライアント巡回」および「マルチ画面監視」を実行する際の間隔をそれぞれ設定します。

間隔は1秒から設定可能ですが、あまり短いとネットワーク環境やコンピュータのパフォーマンスによっては正常に取得できない事があります。

一般的に3秒以上の間隔を設定してご利用になることをお勧めします。

### 【リモートコントロール】

連動起動させるリモートコントロールソフトの設定を行います。

それぞれのボタンを押すと、接続に必要な情報が入力欄に表示されます。

「内蔵簡易リモコン」の場合、ボタンを押すだけで入力欄には何も設定する必要はありません。

「リモートコントロールプログラム」の設定は、ディスク上にあるプログラムをフルバスで指定する必要があります。

「パラメータ」については、利用するリモートコントロールプログラムのマニュアルを参考に値を入力してください。(コマンドラインオプション等)

パラメータの後に、接続するクライアントのIPアドレスがプログラムによって自動付加される仕様になっています。

「内蔵簡易リモコン」以外のリモートコントロールソフトを利用する場合は、別途ソフトウェアのインストールや初期設定が必要となります。

詳しくはそれぞれの説明書をお読みください。

### 【画像配信キー】

コントローラーの画像配信を開始するための、トリガーとなるキー操作を選択します。

他のアプリケーションなどで利用されていない値を選択してください。

### 【画像の配信方法】

クライアントに対して画像の配信を行う際、通信方式として以下の方法を選択できます。

ご利用の環境、運用方法によって最適な方式を選択してください。

#### 1. ファイル転送方式で画像を配信する

ファイル転送によって画像をクライアントに配信し、表示します。

マルチキャスト方式と比べて信頼性は高く、短い時間で配信できます。反面、多くのクライアントに配信する場合は負荷に対する配慮が必要です。

#### 2. マルチキャスト方式で画像を配信する。

ネットワーク環境によっては配信に失敗することがあります。(無線LAN環境など)

また、配信に要する時間も長く掛かります。

IPマルチキャストの通らない、異なるネットワークのクライアントには配信出来ません。

# トラブルシューティング

## トラブルシューティング

**問題:** クライアントの自動登録ができない。

解決(確認事項):

- ・クライアントコンピューターは起動しているか。
- ・ファイアウォールなどでコントローラとクライアント間の通信がブロックされていないか。(コントローラ、クライアント)

**問題:** クライアント情報取得を行った際、時々画像の取得が出来ないことがある。

解決:(コントローラ)

[Shift]キーを押しながら、クライアントを右クリックしてみてください。(通信接続の初期化)

**問題:** クライアント情報取得や、クライアント認識が不安定。

解決(確認事項):(コントローラ、クライアント)

- 1.「ファイル名を指定して実行」にて ncpa.cpl と入力し、「ネットワーク接続」を表示。
- 2.メニューから[詳細設定]-[詳細設定]を選択。
- 3.「アダプタとバインド」にて、本プログラムの通信で利用する接続を最上位に変更。

ホームページ: <http://www.007.jp/jp/>